



きくがわ 社協だより

No.154

2017年

12月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

菊川市社協

検索

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

心配ごと、抱えていませんか？



菊川市社会福祉協議会では、心配ごと相談所を毎月4回開設しています。

プラザけやきと中央公民館の2会場にて開設していますので、利用しやすい会場をご利用ください。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会

〒439-0019 静岡県菊川市半済1865 (プラザけやき内)

☎(0537)35-3724 Fax(0537)35-3202

Eメール info@kiku-syakyou.or.jp

心配ごと相談所 ～身近な相談窓口～

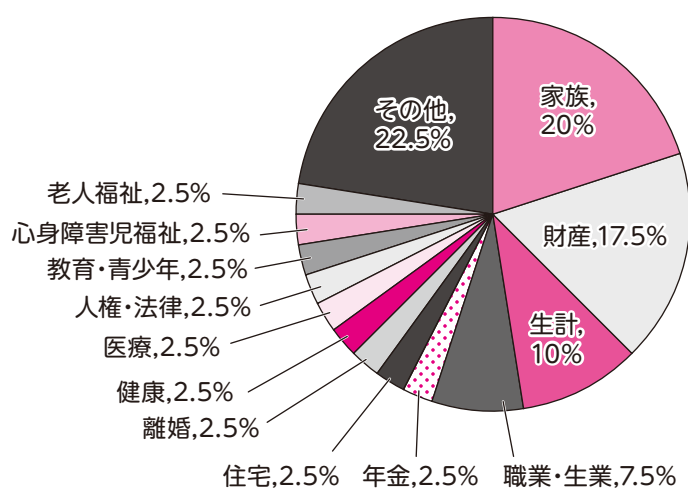
心配ごと相談所は、市民が相談員となっている身近な相談窓口です。「どこに相談したらよいかわからない」、「まずは話を聞いてほしい」と思う方は、ご相談ください。相談員は、相談に来られた方の悩みごとの解決方法や、他の専門機関の紹介を行います。

平成28年度は、下記グラフのとおり家族や財産に関することを中心にご相談をいただきました。財産の具体的な手続きについては、専門相談窓口を紹介しました。

心配ごと相談所は、話を聞くことを中心とした相談です。人に話すことで、すぐに解決とははなれなくとも、心が少し軽くなるかもしれません。1人で抱え込まず、まずは相談してみませんか？



〔平成28年度 心配ごと相談の内容〕



●開設日時・会場

開設日（毎月）	時 間	会 場
1 日	9：00～12：00	プラザけやき
5 日	13：00～16：00	中央公民館
15 日	13：00～16：00	プラザけやき
20 日	9：00～12：00	中央公民館

※休日と重なった場合は、次の平日となりますが、会場の都合により変更する場合があります。詳しい開設日は本誌の8ページに記載しています。

●相談方法

心配ごと相談所は、来所による相談です。

予約はとっておりませんので、開設日に直接会場へお越しください。

●相談員

心配ごと相談員は、民生委員・児童委員、人権擁護委員、行政相談委員の22名が担っています。1回の相談日には、3人の相談員がお話を伺っています。

小笠会場を市役所支所から 中央公民館に変更しました

平成28年度までは、菊川市役所小笠支所にて心配ごと相談所を開設していましたが、平成29年度より中央公民館会場へ変更となりました。開設日によって相談室が異なる場合がありますのでご注意ください。



中央公民館会場（北側出入口）



相談室（2階）

●●相談員の研修会を実施しています●●



研修会の様子

相談員の知識の修得や資質向上を目的に、年2回心配ごと相談員の研修会を開催しています。

平成29年度第1回目は、8月23日（水）に実施し、掛川総合法律事務所の渡邊純男弁護士に「事例から学ぶ弁護士相談」をテーマにご講義いただきました。

弁護士に相談した場合、どのような手続きがとれるのか、教えていただきました。

問合せ先

社会福祉法人菊川市社会福祉協議会

菊川市半済 1865（プラザけやき内）

電話 0537-35-3724 FAX 0537-35-3202

鉄道模型とともに60年

Q. 現在の活動について教えてください。

趣味として、10歳（小学校4年）から60年間、鉄道模型をやっています。現在は駿河鉄道模型クラブの会長をやっていて、静岡県を模した鉄道のジオラマを作っています。駿河鉄道模型クラブは平成16年に発足して今年で13年目に入りました。会員も発足当時は仕事仲間4名でしたが、現在は家族や親戚、知人も巻き込み19名へと増えています。

主な活動は、Nゲージのジオラマの作成とイベントへの参加です。県のグランシップで行われるトレインフェスタを始め、青葉台合同展、掛川フラワーフェスティバル、農林大学校祭に参加し模型の展示をしています。当日は子ども向けに運転体験を開催しています。ジオラマに興味のある大人や家族連れには人気があり、たくさんの方が来てくれます。この中から一人でも鉄道模型に興味を持って続けてくれる子が出てくれると良いと思います。

※Nゲージのジオラマとは…鉄道模型のジオラマのことで、模型列車を走行させるための9mm巾の線路と情景を備えた運転施設模型のこと。

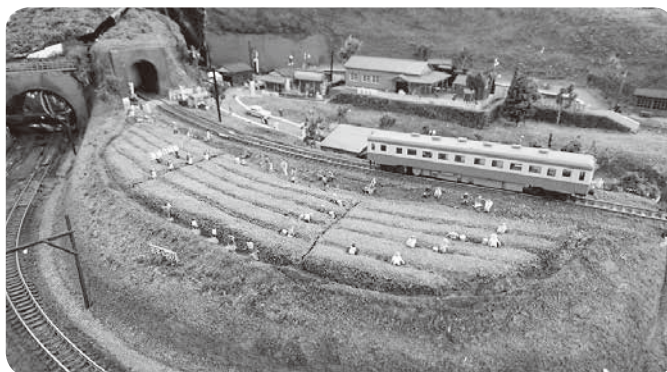


太田光輝さん(自治会名:青葉台3丁目)

Q. 活動して楽しいことや印象に残っていることがあったら教えてください。

イベントで鉄道模型を展示し、みなさんに鉄道模型の運転体験をしてもらいますが、その中で子どもたちが、ワクワクして目を輝かせ動かししている姿を見るのが楽しみです。実際に自分の目で見て、手で触って体験する事の大切さを感じます。

県のグランシップのトレインフェスタでは、平成23年に初めて入場者投票でベストクラブ優秀賞を受賞しました。その後も平成24年、25年と続けて同じ賞を受賞しました。そして平成26年には念願のベストクラブ最優秀賞（グランプリ）をいただき、クラブ員にとって思い出深いフェスタになりました。



太田さん手作りのジオラマ

Q. 趣味や楽しみなことは何ですか。

鉄道模型だけでなく、実際の鉄道を見るのも乗るのも好きです（特にローカル線）。他には、野球と野球観戦（大学野球と阪神タイガース）ですか。映画、レコード鑑賞、カラオケ、お酒も好きなものの1つです。海外旅行は今年の2月、家内とヨーロッパに行ってきました。これは家人にせがまれてのことです。

Q. これからの目標や、やってみたいことがあったら教えてください。

今年始めたのはフィットネスです。医者からメタボ予備軍と宣告されたのでイヤイヤです。2020年の東京オリンピックに、1964年の「阪神間幻の聖火ランナー」700人で走ろうという話が持ち上がっています。これに申し込むためにもダイエットは急務です。



体験運転の様子

※皆さんのお近くで笑顔輝いている方がいましたら社会福祉協議会へご紹介ください。

国際報徳社

こどもの文化センター (Centro Cultural Infantil)

夢と自信が育つ MANAB I Y A (Desenvolvendo sonhos e autoconfiança)

初めまして。私たちの、こどもの文化センターは、小笠南小学校の向かいにある、ピンク色の建物です。看板には「夢と自信が育つMANAB I Y A」と掲げています。

子どもと はたらく親の笑顔のためなら (Alegria e confiança às crianças e aos pais trabalhadores)

平成14年、海外からの働き手の子ども達のために、市内最初の外国人学校として発足しました。18年に日本で二十数校の一つとして、ブラジル国から小学校(4~10才)の認可を受けており、先生方はみな本国の教員資格を持っています。リーマンショックを耐え抜けたのは、夕方再会する親子の笑顔に支えられてきたからです。そんな経緯でセンターの標準語はポルトガル語です。

多文化共成託児塾 (Creche e apoio escolar na sociedade multicultural)

近年、外国人が永住を望む傾向が強くなってきました。地域の小中学生が居場所やその子に応じた学習支援を求めてきました。またポルトガル語を学びに来る日本人も出てきました。そこで様々な子供も大人も共に成長できる場になることを願って、27年に多文化共成託児塾として「こどもの文化センター」の看板を掲げました。センターの主な活動は次の通りです。

- ・ 託児園 (Escola Brasileira Sol Nascente) ・ 学習塾 (放課後・夜・春・夏休み)
- ・ ポルトガル語教室 ・ 日本語教室 ・ 寺子屋「直中」(純和風の茶室を教場にし集中的に学習)
- ・ 文化活動 (みなみやま会館まつりなどに出品) ・ ボランティア活動 (人権の花の世話など)

朝の学童保育 (Cuidados anterior ao horário escolar)

両親が7時前に家を出る子どももいて、小学校・幼稚園の集団登校の時刻までセンターで過ごします。園庭から、道行く人たちへ「おはようございます」の声が響いています。

遊びはこどもの文化 (Brincar construindo cultura infantil)

菊川市の国際地域社会に求められる多文化共生の担い手は、子ども達です。そして万国共通のこどもの文化は遊びです。活動室や園庭では、1才から高校生まで、日・伯はじめ7か国にルーツをもつ子どもたちが共に群れ遊ぶ歓声と、ときには先生方の叱り声が4か国語で響いています。

二宮金次郎さんとモンテイロ・ロバトさんに学んで (Aprendendo com Ninomia Kinjirō e Monteiro Lobato)

玄関では金次郎さんの銅像が見守っています。二階には「ロバトの部屋 (Sala de Lobato)」という図書室があります。ロバトさんはブラジル児童文学の創始者です。

♥ぜひ気軽にお立ち寄りください! (Com toda liberdade venha nos conhecer!)

437-1505 菊川市高橋3695-18 Tel.080-3616-6603 ebsn.contao.@gmail.com



親子活動



ボランティア活動



ハロウィンの様子

地の神様で地域づくりを開催しました！～みねだ地区社協～

11月11日(土)にみねだ会館で「地の神様」のお皿と社(やし)づくりを開催しました。嶺田地域住民25人が参加し、地元の鈴木勝治さん、松原知己さん、伊藤正美さんの丁寧な指導の元、和やかな会話が弾む中楽しいひと時を過ごしました。地の神様とは、ご先祖様が現世から旅立たれて50年経つと『地の神様』になると伝えられており、毎年12月15日には、その年の新しい竹とわらを使って地の神様をこしらえるもので、自然や大地の恵みに感謝する意味もあります。今年も「みねだ地域サポーター」が音頭をとり、地域との交流事業として開催しました。



ふれあい健康づくり「レクリエーション講座」を開催しました！

6月、7月、9月と3回に亘り、プラザけやき201会議室において、3名の講師をお迎えして、講座を開催しました。1回あたり、26名程の皆様がご参加してくれました。

講座を通じて、アレンジ方法や、視点を変えることにより、対象者が「やりたい」と思えるレクリエーションのノウハウを学びました。また、言葉にできない気持ちを理解する姿勢を学び、コミュニケーションのコツ、寄り添った支援のあり方等について実践を通して学びました。

参加者からは、毎回、分かりやすい内容だったので、とても参考になり、地域で直ぐ活用したいとのご意見を多数いただきました。



ふれあい広場を開催しました

10月28日(土)に市民総合体育館で「第11回菊川市ふれあい広場」を開催しました。ふれあい広場は、市内に暮らすさまざまな人たちとふれあって理解が深まることで、誰もが安心していきいき暮らせる菊川市となることを目的に、毎年10月の第4土曜日に開催しています。今年度は、福祉団体やボランティア団体の38団体が実行委員となり、体験コーナー・展示コーナー・販売コーナーを設けて、市民の皆さんに団体の紹介をしながら、ふれあいの時間を持ちました。

来年度もたくさんの皆さんと会話をし、交流できることを楽しみにしています。ご来場いただいた皆さん、ありがとうございました。



ボランティアの広場

ボランティアの輪・和・話(三つの“わ”)

声のサークルやまびこ

私たちは、市から発行される広報誌を音訳し、視覚に障がいのある人たちにお届けしているグループです。身近な情報を知りたいと言う声に応えるため、1980年秋に発足し38年になります。

情報誌などは担当のグループに分かれて、発行の都度録音しています。出来上がったテープはダビングし郵送します。返却されたテープはチェックし整理します。その作業は毎週金曜日の午後、当番を決めて作業しています。金曜日の午後、プラザけやきの点字パソコン室をのぞいて見てください。そして仲間になってください。



問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385 FAX 35-3202

「はじめての手話」受講者募集

聞こえない方たちとの交流をとおして、楽しく手話を学んでみませんか？皆様の参加をお待ちしています。

日 時 平成30年2月14日・21日・28日・3月7日・14日

(全て水曜日) 19:30~21:00

会 場 菊川市総合保健福祉センター プラザけやき

内 容 聴覚障がいの方のお話、手話単語の学習、手話の歌、交流レクリエーション

講 師 菊川市身体障害者福祉会 ろうあ部

協 力 手話サークル太陽の会 手話サークルひまわり

定 員 20名(中学生以上) 2月2日(金)までにお申し込みください。

申込み先 菊川市社会福祉協議会 ☎35-3724



団体からのお知らせ

『書き損じハガキを集めています』

「NPO法人COCO」では、一年をとおして書き損じハガキを集めています。市内の各地区センター、プラザけやき(社会福祉協議会窓口)に収集箱を設置しています。年賀状等の書き損じハガキがありましたら、ぜひご協力ください。



参加者募集 各種事業

平成30年度 地域福祉活動支援助成のご案内

地域における福祉活動の支援を目的とし、市内の福祉的な課題に取り組んでいる当事者組織や、ボランティア団体、市民活動団体、企業などに、共同募金の配分金を財源に助成金を交付します。

- 交付申請協議書の提出（1月）
助成を希望する団体は、平成30年1月19日(金)までに「交付申請協議書」をご提出ください。
- 助成金の内示（2月）
審査会において協議し、助成金額を内示します。
- 交付申請書の提出・交付決定（3月）

問合せ・申込先 菊川市社会福祉協議会 ☎35-3724

「フードドライブ」にご協力ください

- 実施期間** 平成30年1月5日（金）～1月31日（水）
- 回収場所** 菊川市社会福祉協議会窓口（プラザけやき内）
- 希望食品** 穀類（お米、麺類、小麦粉等）、保存食品（缶詰、瓶詰等）、インスタント食品、調味料、食用油、飲料（ジュース、コーヒー、紅茶等）、ふりかけ、お茶漬、のり、ギフトパック（お歳暮、お中元）など、常温で保存が効くもの

（食べ物を寄贈する時の注意）

- ① 生鮮食品の寄贈は受け付けておりません。
- ② 賞味期限が1ヵ月以上ある食べ物を寄贈ください。
- ③ 原則未開封の食べ物を寄贈ください。
- ④ お米、缶詰、パスタ、そうめん、防災食などが喜ばれます。

問合せ先 菊川市社会福祉協議会
☎35-3724

※その他、未使用・未開封の衣類、日用品（洗剤・トイレットペーパー・ティッシュ・シャンプー等）も集めています。



ご家庭に眠っている食品を募集しています！
フードドライブ実施中！



フードバンクふじのくに
開催日程：2018年1月5日～1月31日

「フードドライブ」ってなに？

フードドライブとは、家庭に眠っている食品を学校や職場、食品募集受付施設などに集めて、フードバンクに寄付する食品寄付運動のことです。

寄付していただいた食品は行政や社会福祉協議会・支援団体を通じて食べる物がなくて困っている方々にお渡しいたします。

相談窓口

福祉総合相談

日時 月～金曜日 8:15～17:00

生活困窮者自立相談

日時 月～金曜日 8:15～17:00

心配ごと相談

日時 1月4日（木） 9:00～12:00

1月15日（月） 13:00～16:00

会場 プラザけやき

日時 1月9日（火） 13:00～16:00

1月22日（月） 9:00～12:00

会場 中央公民館

結婚相談

日時 1月5日（金） 18:00～21:00
（受付20:00まで）

1月21日（日） 9:00～12:00
（受付11:00まで）

会場 プラザけやき

※初めてのの方は写真と印鑑をご持参ください。

※奇数月の第1金曜日は女性専用日になります。

ひきこもり、不登校無料相談会

日時 1月15日（月）・22日（月） 13:00～16:00

会場 プラザけやき

予約電話 090-1476-3233